

【「情報Ⅰ」 第2章 情報を伝える、コミュニケーション手段の変化】①

【青森県立八戸中央高等学校】

学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

時代とともに変化するコミュニケーション手段の特徴を自分たちで考え、現在使用している身近なコミュニケーション手段（SNS）の使い方や留意点について学ぶ。

評価規準

【思・判・表】手紙・SNS・ビデオ会議アプリの良い点を自分の言葉で表現している。なぜフェイクニュースが広まるのかを考えて説明している。

【主】スマートフォンから自分をコントロールするために、現在気をつけていることや今後の改善点をまとめようとしている。

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動の充実

コミュニケーション手段の提示

手紙・SNS・ビデオ会議アプリの
良い点を考える

フェイクニュースについて
考えをまとめる

スマートフォンの利用を振り返る

- ・コミュニケーション手段を提示する。
メディアをスライドに提示し、一方向のやりとりか双方向のやりとりかを確認する。
→ 1対1のやりとり、多数とのやりとりが可能なもの＝ソーシャルメディア
- ・手紙・SNS・ビデオ会議アプリの良い点を考える。【思・判・表】
Googleフォームを利用して生徒からの意見を集約し、モニターに集約結果をスプレッドシートでそのまま投影して、生徒全体の意見を共有する。
スライドで各コミュニケーション手段の良い点と悪い点を提示する。
- ・フェイクニュースの特徴を説明する。
フェイクニュースがどのようなものなのか具体例を提示しながら説明する。
なぜフェイクニュースが広まるのかを考え、自分の言葉で表現する。【思・判・表】
- ・スマートフォンの利用を振り返る。
スマートフォンの利用から自分をコントロールするために、自分が現在気をつけていることは何か、今後さらに改善すべき点は何かを考えさせ、Googleフォームに入力させる。【主】

【「情報Ⅰ」 第2章 情報を伝える、コミュニケーション手段の変化】②

【図①】

	A	B	C
1	タイムスタンプ	手紙のメリット	SNSのメリット
2	2024/06/05 9:04:55	形の残るものになる、子供やお年寄りでも書ける	情報が広がりやすく、様々な年代の方に届けられることができる
3	2024/06/05 9:04:58	紙に書くことができるから漢字を忘れない、絵などを描いてしっかり伝えたいことが伝えられる	相手に届くのが早い
4	2024/06/05 9:06:10	手書きだと思いが伝わりやすい	いつでもどこでも簡単に人に連絡できる
5	2024/06/05 9:06:37	永遠に保存ができたり、見返したりできる	すぐに文章が届いてやり取りができる
6	2024/06/05 14:11:32	直接伝えたいことを伝えられる！	情報提供が早い
7	2024/06/05 14:12:04	書いたものが手元に残る	離れていても手軽に会話のやり取りができる
8	2024/06/05 14:12:20	伝えたいことが字で思いと共に送ることができる	短時間で伝えたいことが送れる
9	2024/06/05 14:12:51	思いを率直に綴ることができるため、自分の思いを対面より素直に伝えることができる。	簡単かつ素早く送信、発信できるため日常的な出来事を共有しやすい。
10	2024/06/05 14:12:56	ちゃんと直接伝えたい人に伝えられる	簡単に送れる
11	2024/06/05 14:13:13	紙だと残しやすい	早いテンポでたくさん会話ができる
12	2024/06/05 14:14:15	手元に残る	簡単に送れる
13	2024/06/05 14:14:32	記録として伝えることができる	情報をすぐに得ることが出来る

【図②】

質問 回答 20 設定

コミュニケーション手段について

B I U ☺ ☹

一方向と、双方向のそれぞれのコミュニケーション手段があり、次の3つのツールで、コミュニケーションをとることのメリット

手紙のメリット*

長文回答

【図③】

本日の課題

- ①スマホから自分をコントロールするために、何か気を付けていること、家族とのルールはありますか。
- ②本日の授業の感想を書いてください。

<http://www2.iapet.or.jp/net-walk/animation/movie.html?id=94>
<http://www2.iapet.or.jp/net-walk/animation/movie.html?id=126>

- ・手紙・SNS・ビデオ会議アプリの良い点をGoogleフォームで集約する【思・判・表】

A：特徴や良い点を踏まえて具体例を挙げながら表現できる
 （例：同じ関心や思考を持った人とつながることができる）

B：それぞれの良い点を具体的に表現できている
 （例：情報提供が早い）

C：各コミュニケーション手段の特徴の記述が見られない
 （例：簡単）

- ・なぜフェイクニュースが広まるかを考え、自分の言葉で表現する【思・判・表】

A：「サイバーカスケード」の語句を説明しながら具体的に答えている

B：「サイバーカスケード」の語句はないが表現できている

C：フェイクニュースが広まる理由について記述が見られない

- ・スマートフォン利用の上での注意点や改善点を考える
 スマートフォンの利用から自分をコントロールするために、自分が現在気を付けていることは何か、今後さらに改善すべき点は何かを考えさせ、Googleフォームに入力させる【主】

【 Googleフォーム 】、【 Googleスプレッドシート 】

生徒の身の回りの問題や課題を取り上げ、その解決方法を考察させる過程の中で、情報科として取り組む学習内容を盛り込み、他者との共有・評価を行っている。

問題解決を主とする情報Ⅰの趣旨を捉えつつ、生徒が情報を収集・整理・表現するためにICTやソフトウェアを活用し、他者の考えを共有して、自己の成果物を評価し、身の回りの生活に生かそうとする態度を育成する視点も見られる。

【主体的・対話的で深い学び，探究的な学び事例】

本事例で提案された内容をもとに「時代とともに変化するコミュニケーション手段の特徴を自分たちで考え、身近なコミュニケーション手段の使い方について学ぶ」など、今後単元を貫くような探究的な学びにできる内容である。